

豊岡市社会教育基本計画

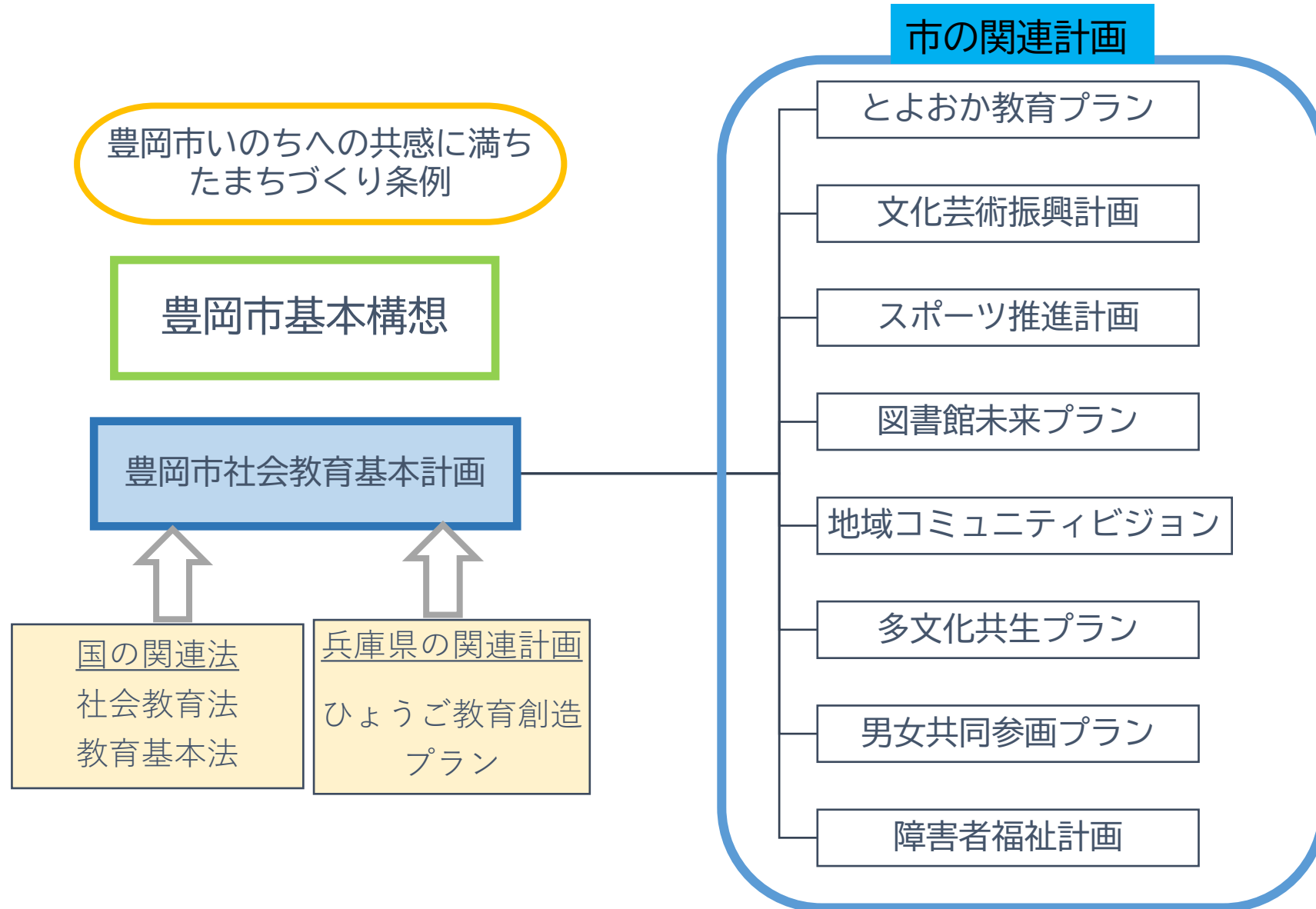
第2回策定委員会

— 豊岡市における各種計画の現状と課題 —

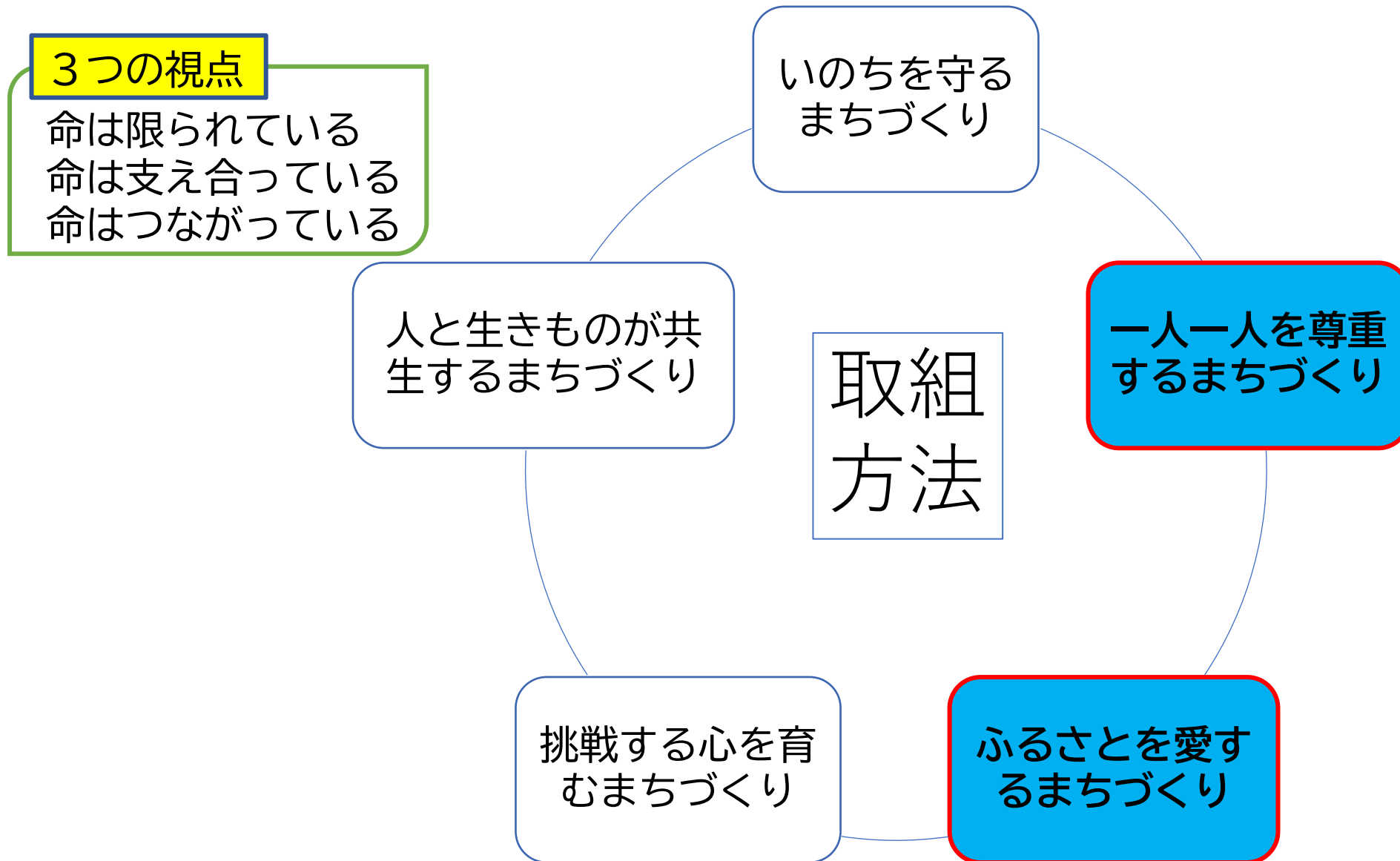
日時：2023年8月21日（月）13:30～

場所：豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

豊岡市における各種計画・プランの構成イメージ



※人権教育、生涯学習についての計画は策定していない



(一人一人を尊重するまちづくり)

第8条 わたしたちは、互(たが)いの違(ちが)いを認め合い、たくさんの人に支えられ、生かされていることを理解し、すべての人が人として尊重されるまちを目指して努力を続けてきました。わたしたちは、次のとおり一人一人を尊重するまちづくりを進めていきます。

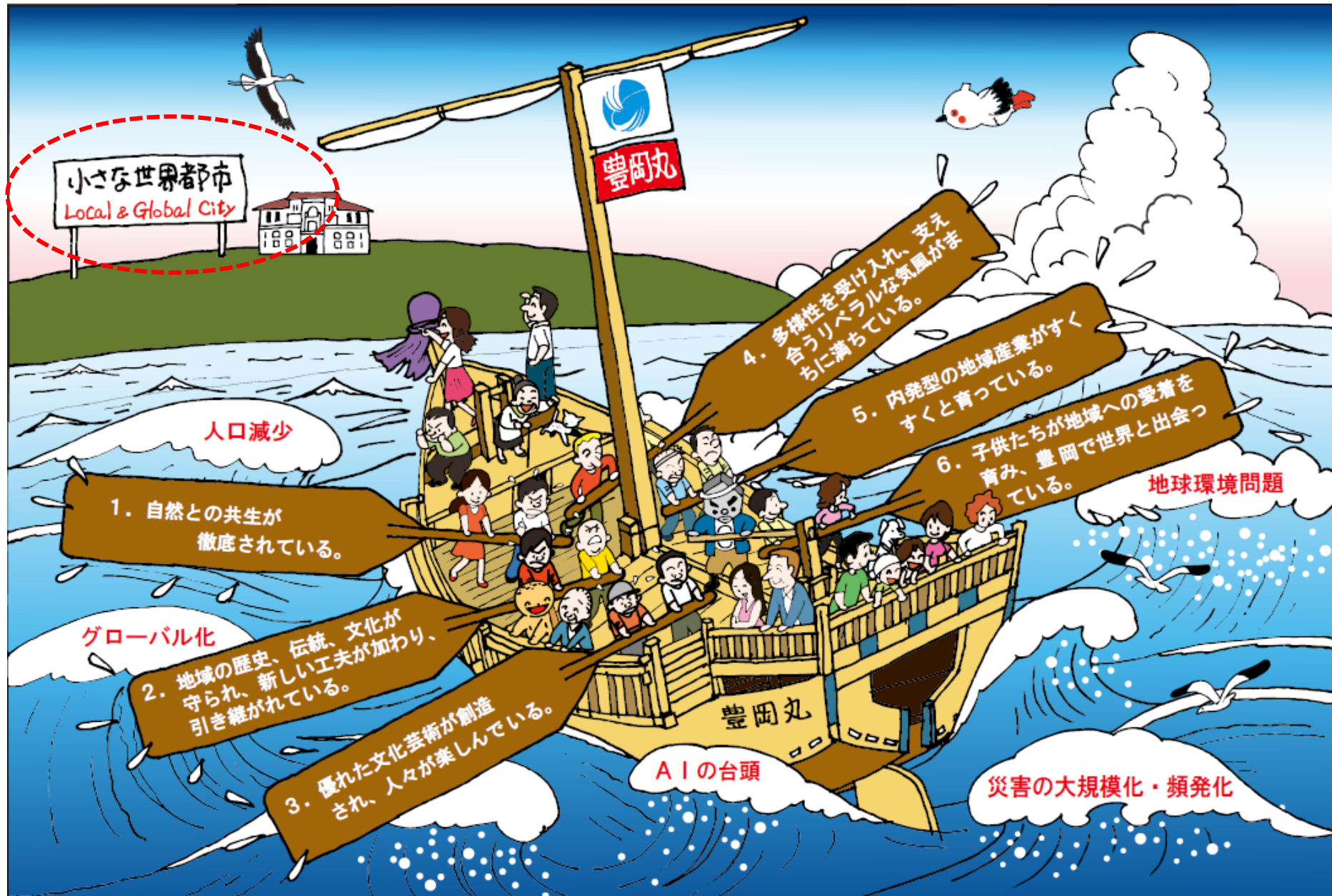
- (1) 年齢、性別、障害、文化等の違いにかかわらず、一人一人が持てる力を揮って、**生き生きと社会に参加し、活動ができるユニバーサル社会づくり**を進めていきます。
- (2) 一人一人が地域の一員として、自発的かつ自律的に男女共同参画社会づくりのための活動に参画し、人と人、**家族や地域社会との絆を深め、互いに支え合うまちづくり**を進めていきます。
- (3) すべての人が、人権侵害を受けることなく、**生涯を通じて健やかに暮らす**ことができるまちにするため、人権教育や啓発を進めていきます。

(ふるさとを愛するまちづくり)

第9条 わたしたちは、地域ぐるみで人とふるさとを育てるために「いのちの教育」や「村を育てる学力」づくりを学んできました。わたしたちは、次のとおりふるさとを愛するまちづくりを進めていきます。

- (1) 一人一人が輝き、ふるさとを愛する子どもを育む教育に取り組んでいきます。
- (2) 生きる力、助け合う心を持った子どもたちを地域全体で育てる自然体験や農業体験を進めていきます。
- (3) 地域の活性化やコミュニティ活動の促進を図り、地域らしさを生かしたまちづくりを進めていきます。

基本構想のイメージ（豊岡丸）



1 基本構想

まちの将来像、重点的な課題、取組の方向を示す指針。

2 市政経営方針

基本構想に定めたまちの将来像「小さな世界都市
—Local & Global City—」を実現するための重点的な政
策及びその戦略的な進め方を示す方針。

市長のマニフェスト的なもの。

【豊岡市基本構想と市政経営方針との関係性】

豊岡市基本構想 2018～2029年度（12年）

**市政経営方針
（前期）**

2018～2021年度（4年）

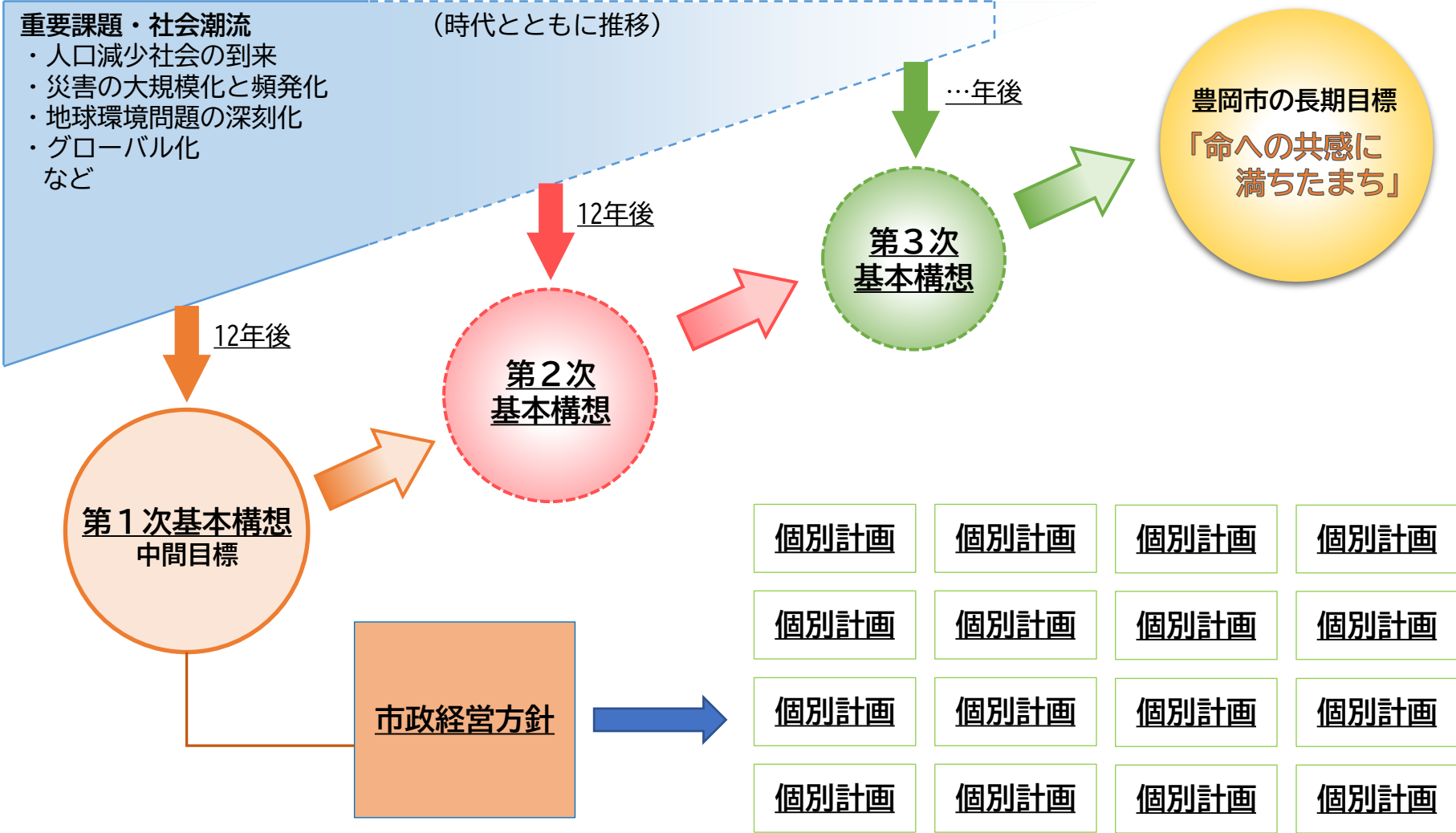
**市政経営方針
（中期）**

2022～2025年度（4年）

**市政経営方針
（後期）**

2026～2029年度（4年）

長期目標と中間目標の関係図

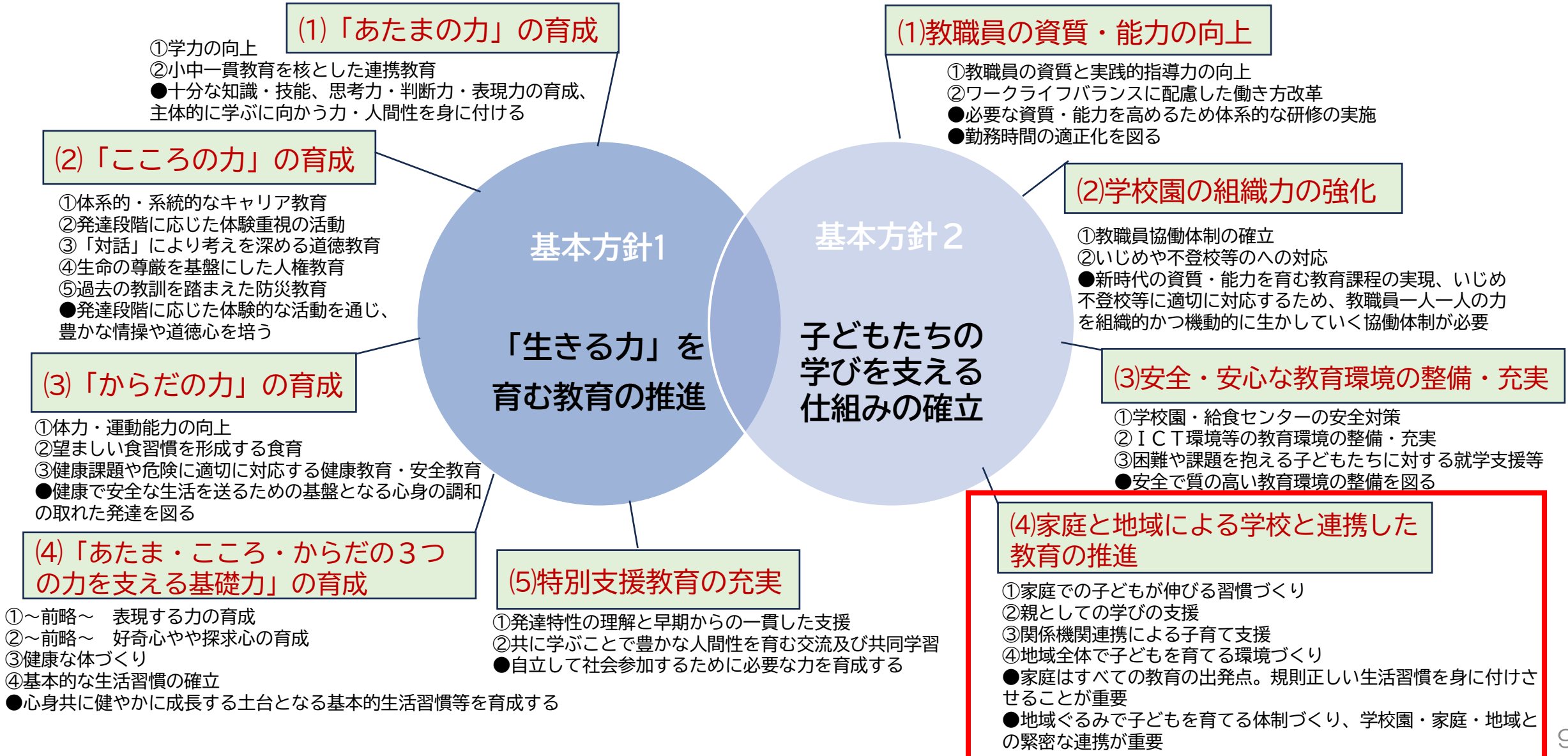


第4次とよおか教育プラン（豊岡市教育振興基本計画）

※2020年2月策定 ◆計画期間2020～2024年度

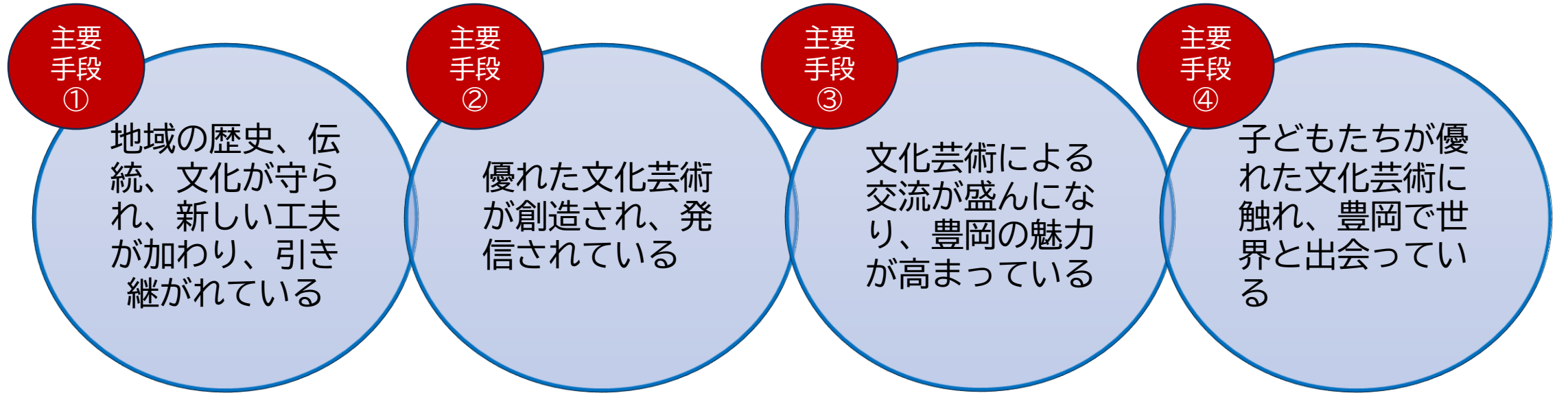
—基本理念— 心と豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成
～非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を子どもたちに～

—基本方針— 1 「生きる力」を育む教育の推進
2 子どもたちの学びを支える仕組みの確立



—戦略目的—

文化芸術による「小さな世界都市」実現



具体的手段

伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

優れた文化芸術に身近に触れている

文化芸術による交流を通して、文化芸術に携わる人が増えている

子どもたちが優れた文化芸術に身近に触れている

地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

豊岡の優れた文化芸術が内外に知られている

多様性を受け入れ、支え合う気風がまちに満ちている

豊かな表現力を身に付けた子どもたちが増えている

現状と課題

第1期計画では戦略目的に対し、着実に施策を実行してきたと評価。課題として、市民への浸透という点では不十分であり、魅力的な事業内容や効果的な広報戦略に課題。

—基本理念— ～健康で笑顔あふれる元気なまち～ スポーツパーク とよおか

現状と課題

各種スポーツ 団体

- ・スポーツ協会・・・関係機関と連携した事業実施、未加盟種目協会の加盟促進、指定管理による施設管理、自主事業の実施による自主運営化の推進
- ・スポーツ推進委員会・・・スポーツの実技指導、指導助言。普及・事業・研修部の3部で構成。研修で得た知見を活かし、普及啓発等地域に密着した活動を期待
- ・スポーツクラブ21・・・小学校区に設立。**運営委員の高齢化・固定化、指導者・後継者不足、財政基盤の確立等課題。活動においても二極化（活発、活発でない）**
- ・スポーツ少年団体・・・活動の専門化、勝利至上主義と過密練習。少子化による校区を超えたチームも見受けられ、**広域的な組織編制・組織基盤の強化が必要**

スポーツによる 大交流

- ・全日本クラスの大会や全国規模のイベントを誘致開催することで、集客効果による地域経済の活性化に加え、観光資源を発信することでスポーツを通じた交流の拡大を図る。

情報入手方法 と提供手段

- ・市や各種団体ともデジタル化によりホームページ、SNSなどを活用して情報提供に取り組んでいるが、同時に**情報不足も指摘**されており、今後も提供方法・内容の工夫検討が必要。

スポーツ教室 ・イベント

- ・スポーツ教室・・・開設地域や種目のバランスを欠く。市民ニーズにあった身近で参加しやすい教室を種目協会の協力で開催。
- ・スポーツイベント・・・地域や対象者が限られたものや**趣旨が明確でないもの、継続した活動に結びつかないもの等の見直し。**

スポーツ施設、 学校開放事業

- ・市立スポーツ施設・・・利用状況に差。人口減少・市の財政規模の縮小が予測され、学校再編や社会経済等の変化による見直しも必要。
- ・学校開放事業・・・市立スポーツ施設と料金体系が異なりほぼ無料で利用でき、バランスを欠いている。**受益者負担の在り方の検討**など。

DX推進

- ・施設の利用申請や補助金申請などの**DX化を推進し、市民の利便性向上と行政の効率化を両立させる取組みが必要。**

ジェンダー ギャップ解消

- ・**女性の働く世代におけるスポーツ実施率の低さが課題。**女性にはライフステージごとの健康課題があるが、適度な運動で予防できるものもある。スポーツを日常に取り入れていく。

—基本理念— ～健康で笑顔あふれる元気なまち～ スポーツパーク とよおか

基本方針

①家庭・学校園・地域が連携して、子どもの体力を向上させます

- ・幼少期からの子どものスポーツ機会の拡大
- ・スポーツ少年団体の活動の充実
- ・学校体育や運動部活動の充実

②気軽に参加できるスポーツ環境の整備を図ります

- ・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ・地域コミュニティ組織との連携強化
- ・スポーツクラブ21の組織強化
- ほか

③競技力を向上させます

- ・専門性の高い協議スポーツ指導者の育成
- ・ジュニアアスリートの発掘
- ・大会参加（社会教育団体、個人等）への支援
- ほか

④トップレベルの競技大会の開催に努めます

- ・全国レベルの大会誘致
- ・感動やあこがれ、夢や希望を育むスポーツ教室の開催

⑤スポーツ指導者を育成します

- ・地域のスポーツ指導者の育成
- ・スポーツ推進員の資質向上

⑥スポーツ活動推進のための情報提供に努めます

- ・スポーツイベント等の情報の集約や発信
- ・スポーツ教室や大会などの情報発信
- ほか

⑦スポーツ活動推進のための連携と協働体制を構築します

- ・スポーツ協会、推進委員会、関係団体との連携
- ・障害者団体等との連携
- ・スポーツボランティアの育成と活用
- ほか

⑧スポーツによる大交流を推進し、地域を活性化させます

- ・地域の特色を生かしたスポーツの推進
- ・スポーツ大会やスポーツイベントの誘致推進
- ほか

—目指す姿—

図書館を学びとつながりの場として活用し、豊岡の暮らしを楽しむ人が増えている

現状と課題は？

—機能強化の柱—

- ① 市民が図書館を身近で利用価値がある場所だと認識している
- ② 誰もが安心して過ごすことができる場所になっている

図書館

- ・ボランティア高齢化と後継者不足
- ・利用者・貸出点数の減少

検討で見えた課題

- ・貸出返却の利便性向上
- ・学校図書館、授業の支援と連携
- ・民間文庫との連携
- ・市民の図書館運営への参加
- ・読書以外の生活需要を満たす図書館利用の増加

社会
ニーズ

- ・新型コロナウイルス感染症拡大
- ・多様な図書館の使われ方
- ・子どもの読書活動及び調べ学習支援の推進
- ・市民目線の図書館運営
- ・電子書籍、電子ジャーナルの普及

視点1

あらゆる情報
提供の拠点

市民にとってのサード
プレイスであり、デー
タセンターでもある

【取組方針】

- ①幅広い視野からの資料収集
- ②市民に近い返却・貸出場所の設置
- ③非来館、非接触型サービスの展開

視点2

子どもの
読書支援

子どもの成長に必要な読
解力、論理的能力を身に
付ける手助けをする

【取組方針】

- ①読書の習慣化を支援
- ②調べ学習の定着支援
- ③学校図書館の支援
- ④ボランティア等人材育成

視点3

つながりと活
躍のきっかけ
づくり

協働することで市民が
自分たちの図書館であ
ることを認識する

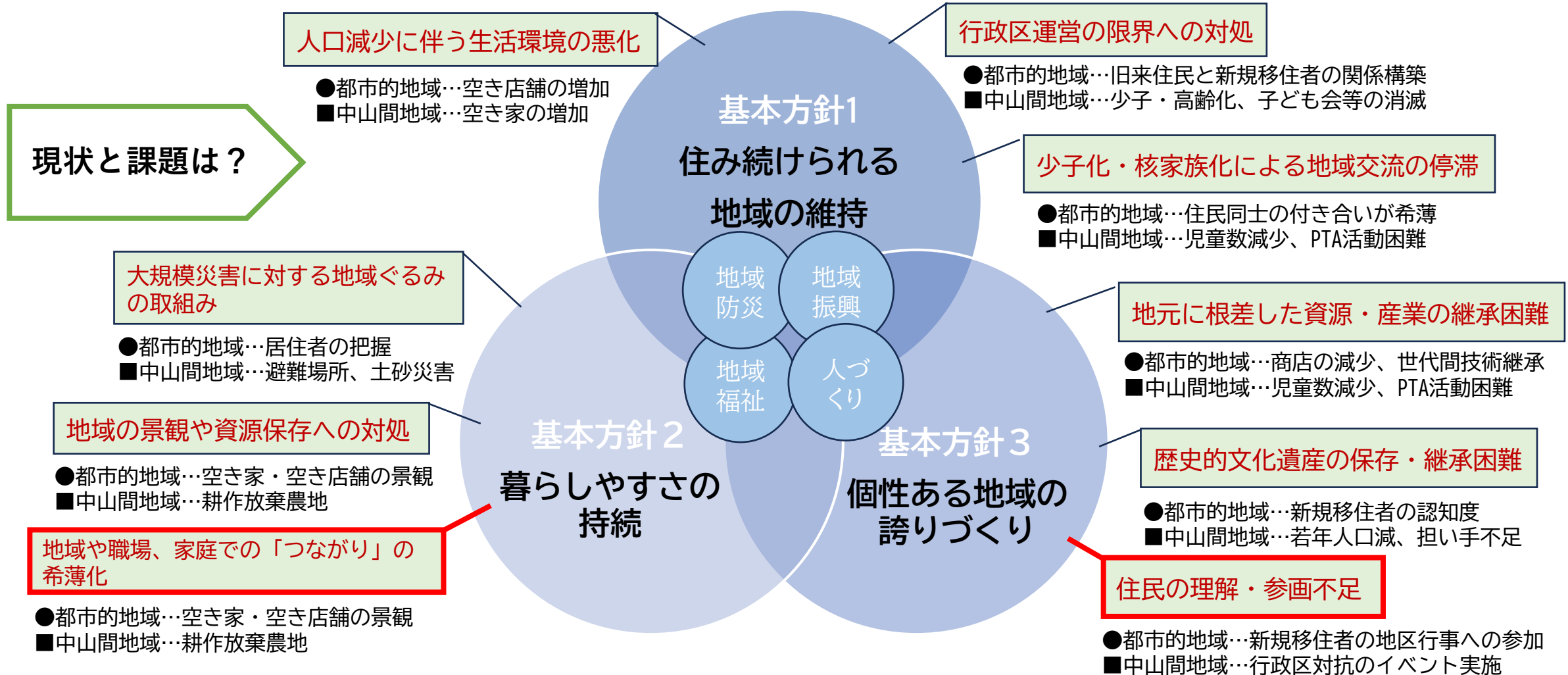
【取組方針】

- ①市民の活動拠点の提供
- ②多様な主体の利用を実現(個・グループ)
- ③本を通じ社会貢献と自己実現を支援

地域コミュニティビジョン

※2020年2月策定 ◆計画期間2020～2029年度

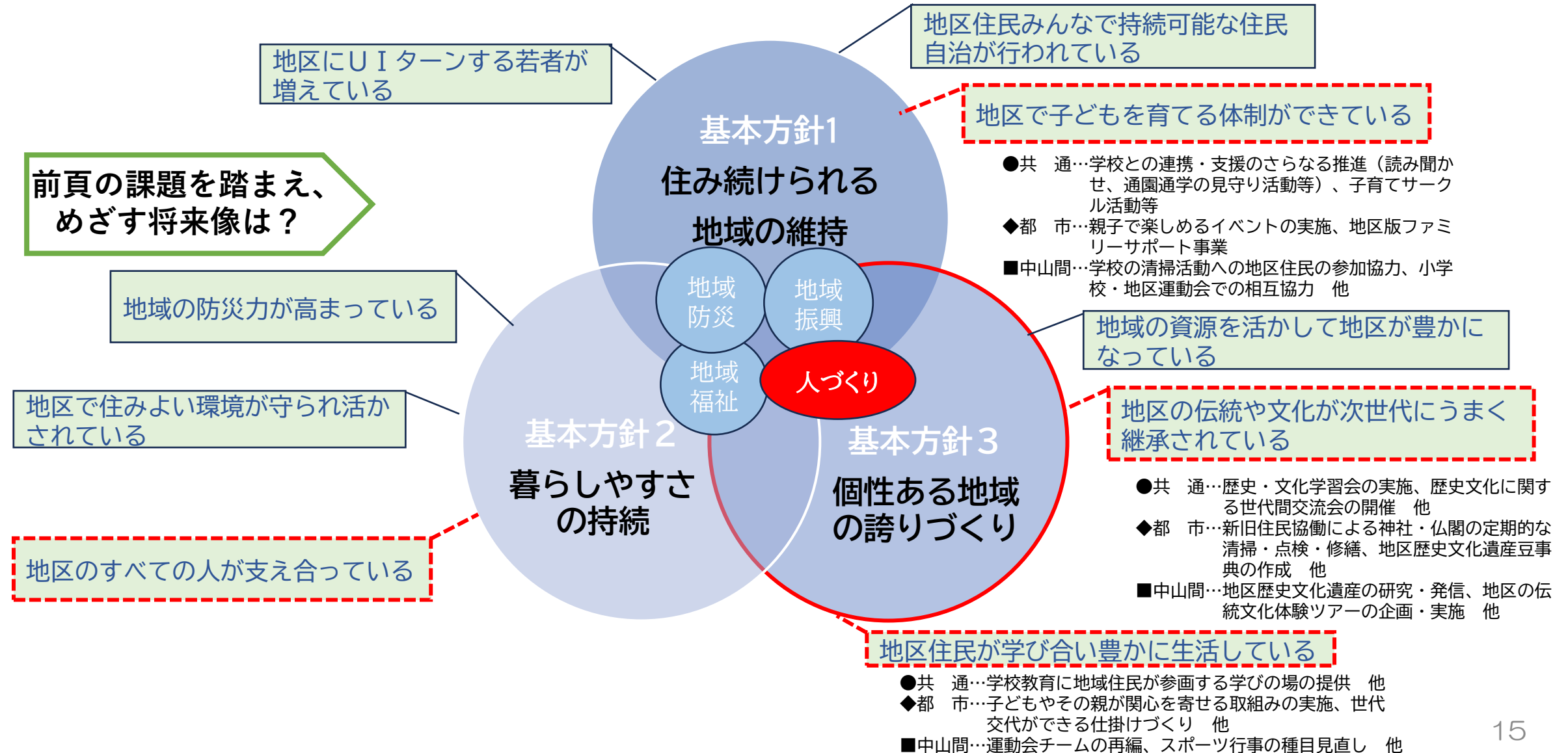
—基本理念— 誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域」



地域コミュニティビジョン (その2)

※2020年2月策定 ◆計画期間2020～2029年度

—基本理念— 誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域」



—目指す姿—

「多様な人々が地域や職場の一員として活躍している」

これまで市及び外国人支援団体では多文化共生のために様々な事業を実施してきた。外国人市民が増加するなか、2019年度から「外国人住民に関する調査研究」を進めた結果、以下のとおり外国人市民の現状と抱える課題が明らかになった。

これまでの取組と課題

コミュニケーション支援

《取組》

- NPO法人等民間の外国人支援団体が実施する日本語教室、受講者の生活相談受付等について市が補助を行っている。
- 市の行政手続きでは国際交流相談員を配置し、窓口での通訳業務を行うとともに、市窓口ではタブレットを用いた多言語映像通訳や多言語音声翻訳アプリを導入。
- 市での生活の基本事項をまとめた多言語版のリビングガイドや、やさしい日本語と英語を併記した防災ハンドブックを発行。

《課題》

- 多様なニーズを持った人々の増加
- 出産・子育て・教育・福祉・雇用等様々な相談にワンストップで対応できる一元的相談窓口の設置と対応する通訳者・相談員の人材育成
(※2023. 4月から相談窓口一部開始)

生活支援

《取組》

- 外国語併記の母子手帳交付等。
- 教育分野では市内小中学校に入国後1年6か月間、多文化共生サポーターを派遣。
- 119番通報、救急現場での三者間同時通訳での対応、スマートフォンを使用した多言語翻訳アプリの配備
- 災害時対応としてNPO法人等と市が覚書を締結し、提供した非案情報等を関係する外国人に伝えている。

《課題》

- 言葉・文化の違いによるコミュニケーション
- 乳幼児健診での通訳の必要性
- 外国ルーツの子ども支援として、日本語教育の充実、母語・継承語、親の母文化教育の必要性
- 災害時の外国人支援体制の整備

意識啓発と地域づくり

《取組》

- NPO法人と市の共催で多文化共生セミナー開催
- NPO法人等による広報誌やSNSを活用したイベント周知、生活のことや感染症に関する相談窓口

《課題》

- 外国人市民のイメージの刷新
- 外国人市民が能力を発揮できる環境整備
- 外国人市民支援ネットワークの構築

豊岡市多文化共生推進プラン

※2021年9月策定◆計画期間2021～2025年度

— 目指す姿（長期目標） —

「多様な人々が地域や職場の一員として活躍している」

— 戦略目的 —

「暮らしやすいと感じている外国人が増えている」

主要
手段
①

外国人市民
が円滑にコ
ミュケー
ションを
とっている

主要
手段
②

外国人市民が
安全・安心に
暮らしている

主要
手段
③

外国人市民が
地域活動に参
画している

具体的手段

- (1) 行政情報・生活情報が伝わっている
- (2) 外国人市民相談のワンストップ体制
- (3) 日本語を学ぶ機会が増えている

- (1) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援が充実
- (2) 安心して出産、子育て
- (3) 安心して医療・介護サービス
- (4) 働きやすい環境、働きがいを感じる人の増
- (5) 移動手段が確保されている
- (6) 住宅の確保
- (7) 災害等への備え

- (1) 文化生活習慣のちがいを認め合っている
- (2) 気軽に交流できる居場所や機会が増えている
- (3) 地域、地区住民とつながりができている
- (4) 外国人市民が主体的に活動
- (5) 多文化共生を推進する人材が育っている
- (6) 留学生が地域と交流

事業例

- ・ 市役所書類の多言語化・多言語案内表示
- ・ 多言語映像通訳サービス・音声翻訳アプリ
- ・ ワンストップ相談窓口の設置検討
- ・ 日本語学習機会の充実、ボランティア育成ほか

- ・ 多文化共生サポーターの充実
- ・ 外国語の母子手帳交付
- ・ 乳幼児健診等での通訳等多言語対応
- ・ 災害時における外国人支援体制 ほか

- ・ 子育て支援総合拠点での交流事業
- ・ **地域行事への参加促進**
- ・ 外国人ボランティアの育成
- ・ 市役所と外国人市民ネットワークとの連携ほか

—基本理念—

「だれもがいきいきと暮らすことができる寛容な社会」

基本
目標
①

だれもが互
いを尊重し、
自分らしい
生き方を選
択できる

基本
目標
②

基本目標②
だれもがあ
らゆる分野
に参画し、
支え合える

基本
目標
③

基本目標③
だれもが安
全・安心に
暮らすこと
ができる

施策の柱

①固定的性別役割分担がなお根強いことへの気付き

②子どもの頃からの人権教育の推進

①女性も男性も働きやすく働きがいのある職場環境の整備

②地域における女性の登用や意思決定・方針決定過程の参画拡大

③職場・家庭・地域・学校における協調と自立の推進

①性差に応じた健康支援とリプロダクティブ・ヘルス/ライツの推進

②あらゆる暴力根絶

③生涯にわたって安全・安心に暮らすこと
ができる地域づくり

④社会包摂の実現

—基本理念— 「障害がある人もない人も 共に支え合い 自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり」～多様性を受け入れる社会をめざして～

現状と課題

①社会参加の手段の確保

- ・公共交通や駐車場などの利便性向上
- ・障害に応じた外出支援の充実

②障害のある人が地域で暮らすための理解の促進

- ・家族、地域の方々が障害の特性について理解を深めたり、障害のある人の意思決定の場への参加。

③福祉人材の確保・育成

- ・専門的な知識や経験のある人材の育成、相談支援専門員やサービス提供事業者の研修や研修情報の提供

④就労環境の充実

- ・障害の特性に応じた働き方ができるような支援
- ・障害に対する理解を深め、雇用機会を拡充

⑤障害者（児）虐待の防止

- ・毎年、障害者に対して保護者・養護者・施設従事者による虐待が起きていることから、早期発見・対応のための関係機関の連携強化

⑥災害対策と準備

- ・障害者がストレスなく利用できる避難所の確保、そのための地域・行政・関係機関による迅速な対応をとることができる体制づくり

⑦居場所づくり

- ・様々なコミュニティ活動に参画できるよう地域の関係団体との連携
- ・身近な地域で情報の交換や悩みを打ち明けられる居場所づくり

⑧障害の早期発見から切れ目のない支援の充実

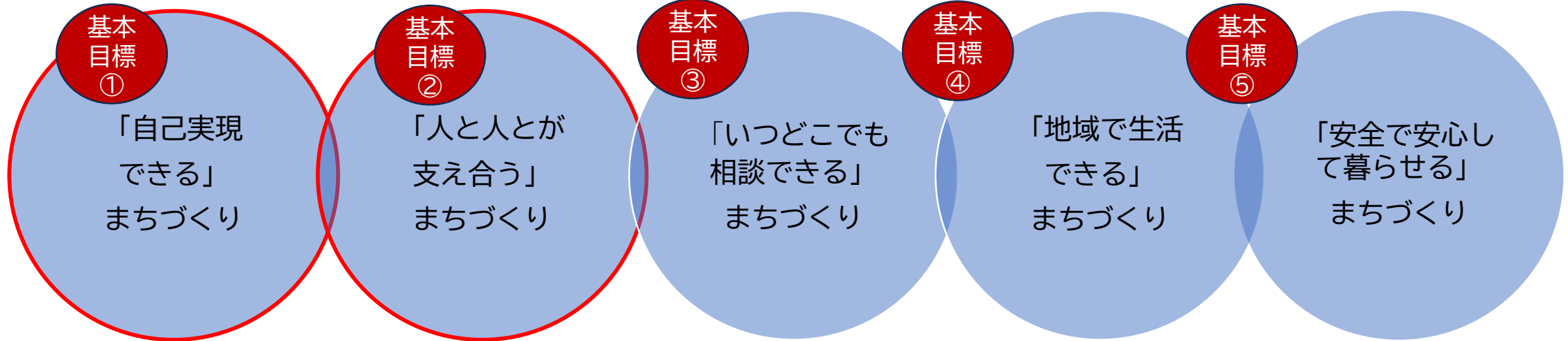
- ・障害者やその家族が抱える様々な課題やニーズを聞き取り、最も適切なサービス利用につなげるための相談支援体制・

豊岡市障害者計画 (その2)

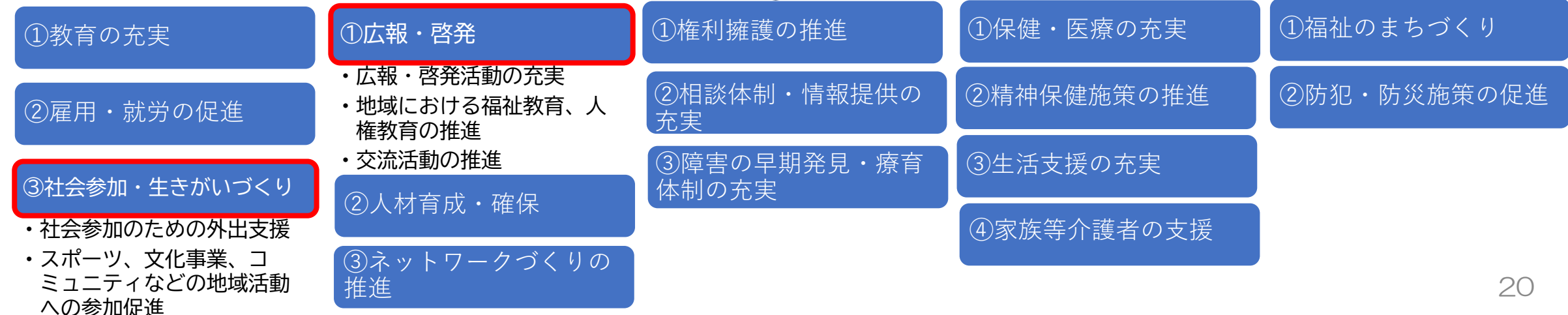
※2021年2月策定 ◆計画期間2021～2026年度

—基本理念—

「障害がある人もない人も 共に支え合い 自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり」～多様性を受け入れる社会をめざして～



基本施策



これらの計画を包含し、豊岡市が目指す
社会教育の方向性は？

キーワードは・・・

「ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」

各種計画における共通の課題は？